

地元企業の景況 第58号

郡上市八幡町新町961番地
八幡信用金庫
総務・企画本部
TEL (0575) 65 - 3407
FAX (0575) 66 - 2252

< 業況判断 >

2期連続改善するも、来期は悪化見通し

業況判断図（業種ごとの業況を表情図で示しました。）

今期（平成21年7～9月期）

1. 今期の業況判断D.I.は 51.5と前期（平成21年4～6月期）63.7に比べ12.2ポイントの改善。
2. 農業、卸売業で悪化が見られたものの、サービス業、小売業、飲食業、建設業、不動産業、製造業で改善。地域経済は観光等の季節的要因によりサービス業においては大幅に改善するも、その他の業種の業況は依然として厳しい状況。

来期（平成21年10～12月期）

1. 来期の業況判断D.I.は 52.1と今期 51.5に比べ0.6ポイント悪化予想。
2. 製造業、小売業で改善するも、卸売業、不動産業、農業で横這い、サービス業、飲食業、建設業で悪化予想。

業種	前期 H21年 4～6月	今期 H21年 7～9月	来期 H21年 10～12月
製造業			
卸売業			
小売業			
飲食業			
サービス業			
建設業			
不動産業			
農業			
全業種			

きわめて不振 DI < 30	不振 30 DI < 15	やや不振 15 DI < 0	まあまあ 0 DI < 15	好調 15 DI < 30
				特に好調 30 DI

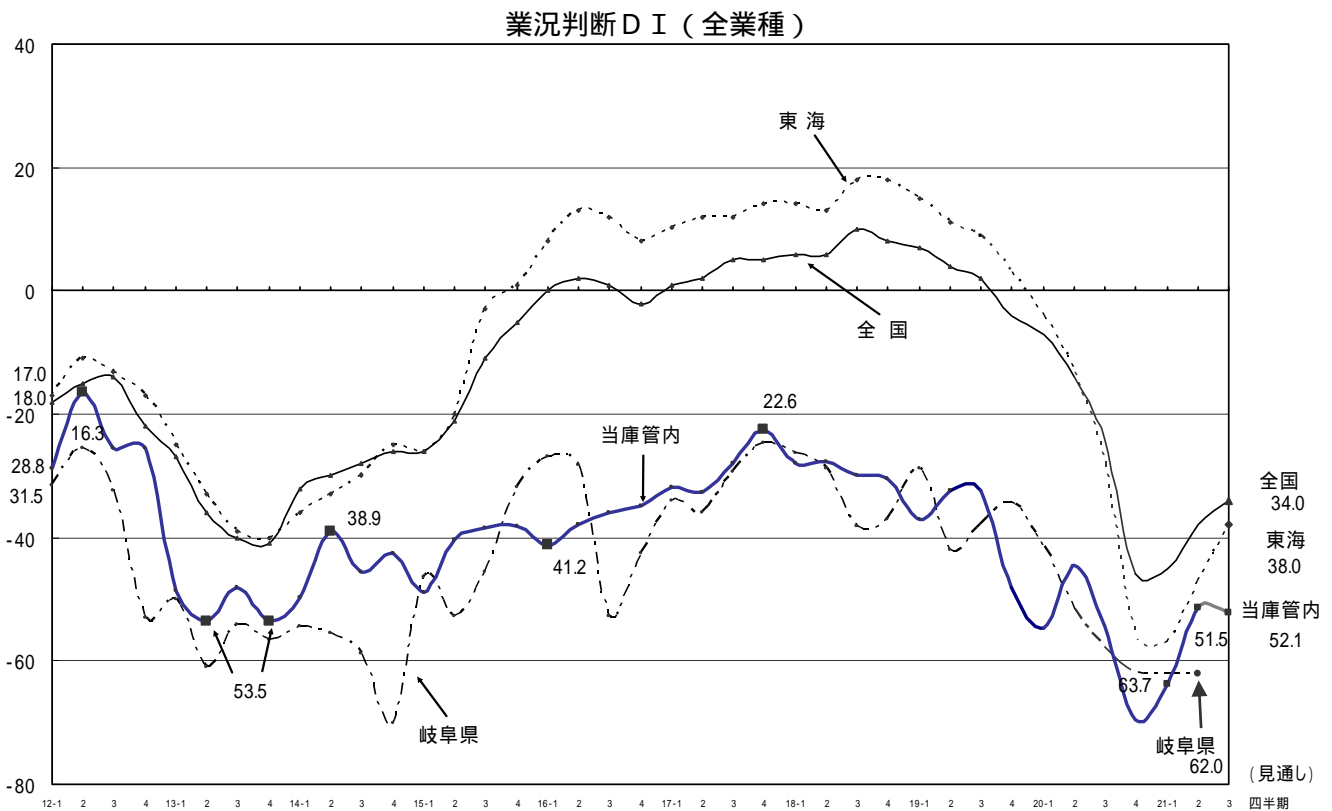
調査概要

- 調査目的 郡上市・下呂市・高山市・大野郡白川村の当金庫取引先の景気動向
- 調査対象 当金庫取引先 230先
(郡上市197社 下呂市19社 高山市・大野郡白川村14社)
- 調査時期 平成21年7月1日～9月30日
- 調査時点 平成21年9月30日時点
- 回収状況 配付数 230先(うち回収数165先) 回収率 71.7%
- 調査項目 (1)業況判断 (2)売上高・受注額 (3)採算水準 (4)資金繰り
(5)製品(商品)在庫 (6)設備投資 (7)経営上の問題点 (8)業況の回復時期
- 補足調査 製造業、小売業の「売上高」「受注額」「業況判断」の前年同期との比較
- 特別調査 景気の底打ち感について
- 参考資料 有効求人倍率について
- 調査方法並びに注意事項
- ・アンケート項目毎の増加(上昇・好転等)企業割合と減少(低下・悪化等)企業割合の差による数値判断...D.I.(ディフュージョン・インデックス)
 - ・数値のほかグラフも掲載致しました。
 - ・比率に関しては小数点第2位を四捨五入しております。
 - ・建設業に関しては、「売上、受注」項目において「受注」として別掲扱いとしております。

1. 業況判断

全業種の業況判断D.I.(良い-悪い)は、今期(平成21年7~9月期) 51.5と前期(平成21年4~6月期) 63.7に比べ12.2ポイント改善となりました。業種別では、農業、卸売業で悪化が見られたものの、季節的要因によりサービス業、小売業、飲食業で改善となった他、建設業、不動産業、製造業でも改善となりました。景気のレベルは前回景気回復のスタート地点並みと未だ低く、地域内の業況は依然として厳しい状況が続いています。

来期(平成21年10~12月期)の業況判断見通しは、製造業、小売業で改善の見通しですが、卸売業、不動産業、農業で横這い、サービス業、飲食業、建設業で悪化の見通しとなっており、その結果、予想業況判断D.I.は 52.1と今期より0.6ポイントの悪化予想となっています。



(注)「全国」「東海」は日銀短観、「岐阜県」は株式会社日本政策金融公庫岐阜・多治見支店国民生活事業による。

業況判断

(%)

業種	H21年4月~6月(前期)				H21年7月~9月(今期)				これから3ヵ月間の見通し			
	良い	良悪なし	悪い	D I	良い	良悪なし	悪い	D I	良い	良悪なし	悪い	D I
製造業	9.3	18.5	72.2	62.9	9.1	25.0	65.9	56.8	11.4	31.8	56.8	45.4
卸売業	16.7	16.7	66.7	50.0	0.0	30.8	69.2	69.2	0.0	30.8	69.2	69.2
小売業	5.6	16.7	77.8	72.2	11.5	21.2	67.3	55.8	13.5	25.0	61.5	48.0
飲食業	9.1	18.2	72.7	63.6	10.0	30.0	60.0	50.0	0.0	20.0	80.0	80.0
サービス業	0.0	46.2	53.8	53.8	36.4	27.3	36.4	0.0	18.2	27.3	54.5	36.3
建設業	3.7	33.3	63.0	59.3	14.3	25.0	60.7	46.4	0.0	42.9	57.1	57.1
不動産業	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	60.0	40.0	40.0	0.0	60.0	40.0	40.0
農業	0.0	20.0	80.0	80.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0
全業種	6.6	23.1	70.3	63.7	11.5	25.5	63.0	51.5	8.5	30.9	60.6	52.1

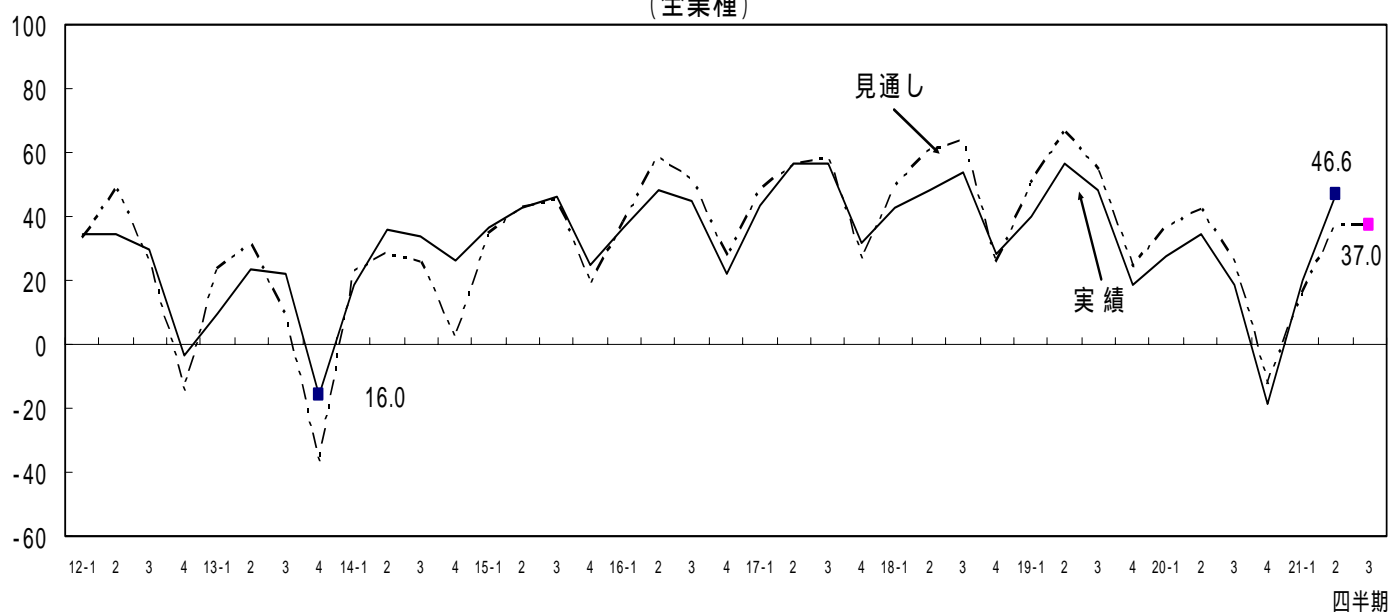
2. 売上・受注

(1) 売上

建設業を除く売上額判断D.I.(増加-減少)は、今期46.6と前期19.8に比べ26.8ポイント改善となりました。業種別では、不動産業、飲食業、農業で悪化がみられたものの、サービス業、製造業、卸売業、小売業で改善となりました。

建設業を除く来期の見通しは、製造業で改善の見通しですが、不動産業、農業で横這い、飲食業、卸売業、サービス業、小売業で悪化の見通しとなっており、その結果、予想売上額判断D.I.は37.0と今期より9.6ポイントの悪化予想となっています。

売上 D I
(全業種)



売上

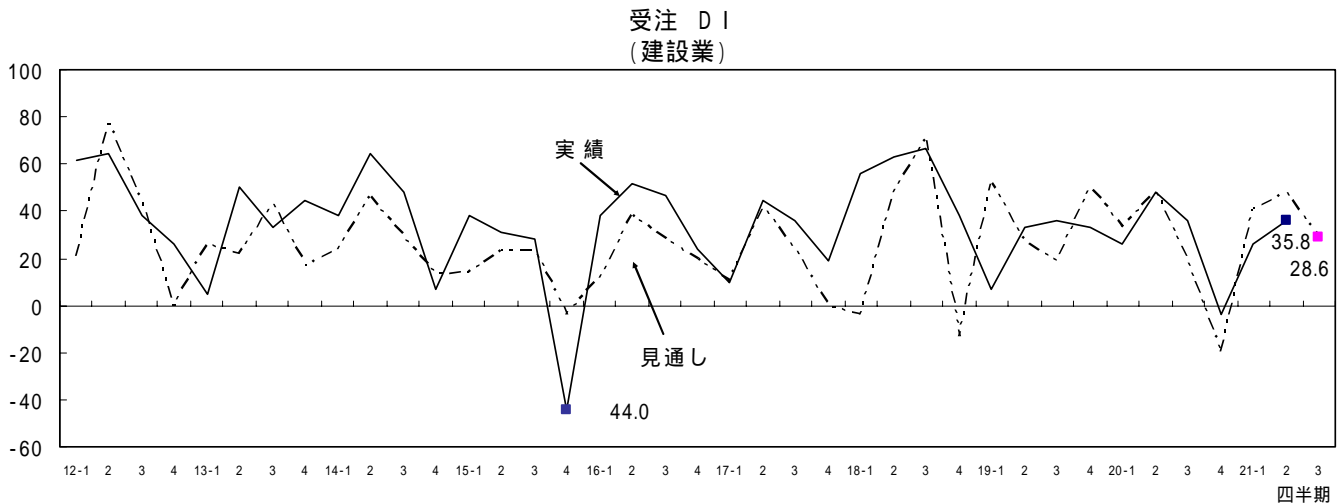
(%)

業種	H21年4月～6月(前期)			H21年7月～9月(今期)			これから3ヵ月間の見通し		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
製造業	48.1	51.9	3.8	72.7	27.3	45.4	79.5	20.5	59.0
卸売業	75.0	25.0	50.0	92.3	7.7	84.6	69.2	30.8	38.4
小売業	40.7	59.3	18.6	53.8	46.2	7.6	48.1	51.9	3.8
飲食業	81.8	18.2	63.6	70.0	30.0	40.0	30.0	70.0	40.0
サービス業	53.8	46.2	7.6	81.8	18.2	63.6	72.7	27.3	45.4
不動産業	100.0	0.0	100.0	80.0	20.0	60.0	80.0	20.0	60.0
農業	60.0	40.0	20.0	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0
全業種	59.9	40.1	19.8	73.3	26.7	46.6	68.5	31.5	37.0

(2) 受注

建設業（建築工事19先、土木工事12先）の受注高判断D.I.（増加-減少）は、今期35.8と前期26.0に比べ9.8ポイント改善となりました。

来期の見通しは、土木工事で33.2ポイントの悪化、建築工事で12.5ポイントの改善見通しとなっており、来期の予想受注高判断D.I.は28.6と今期より7.2ポイントの悪化予想となっています。



受注

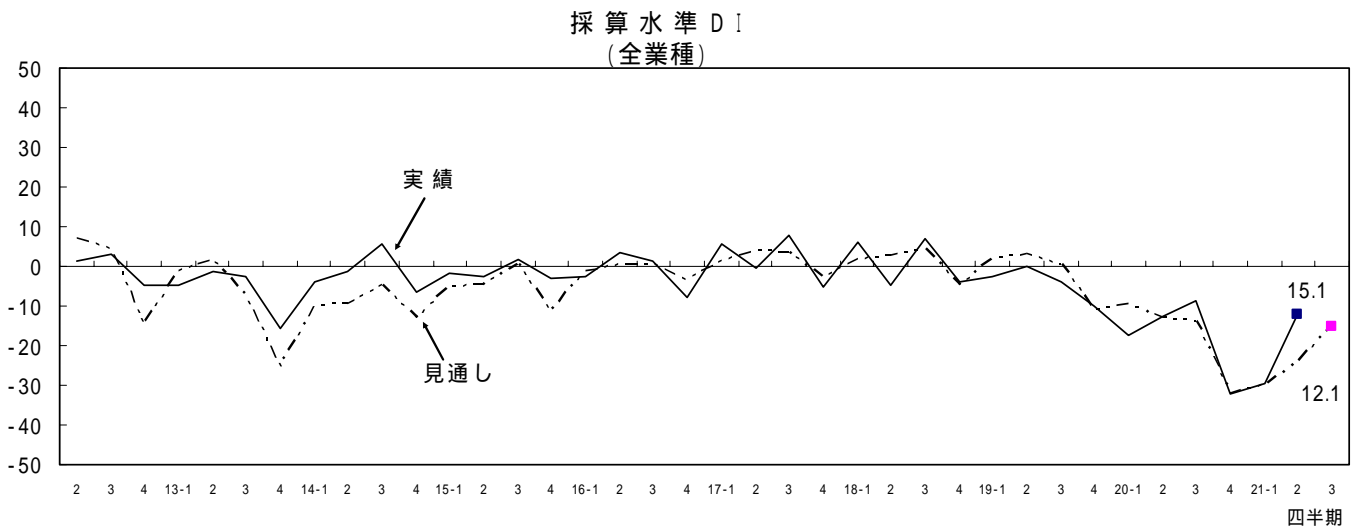
(%)

業種	H21年4月～6月(前期)			H21年7月～9月(今期)			これから3ヵ月間の見通し		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
建設業(受注)	63.0	37.0	26.0	67.9	32.1	35.8	64.3	35.7	28.6

3. 採算水準

全業種の採算水準判断D.I.(黒字-赤字)は、今期 12.1と前期 29.7に比べ17.6ポイント改善となりましたが、採算水準を下回っていることに変わりありません。業種別では、サービス業が70ポイント以上の大幅改善をはじめ、すべての業種において改善となりました。

来期の見通しは、建設業、製造業で改善、農業で横這いとなっておりますが、飲食業、サービス業、不動産業、卸売業、小売業で悪化する見通しとなっており、その結果、予想採算水準判断D.I.は 15.1と今期より3.0ポイントの悪化予想となっております。



採算水準

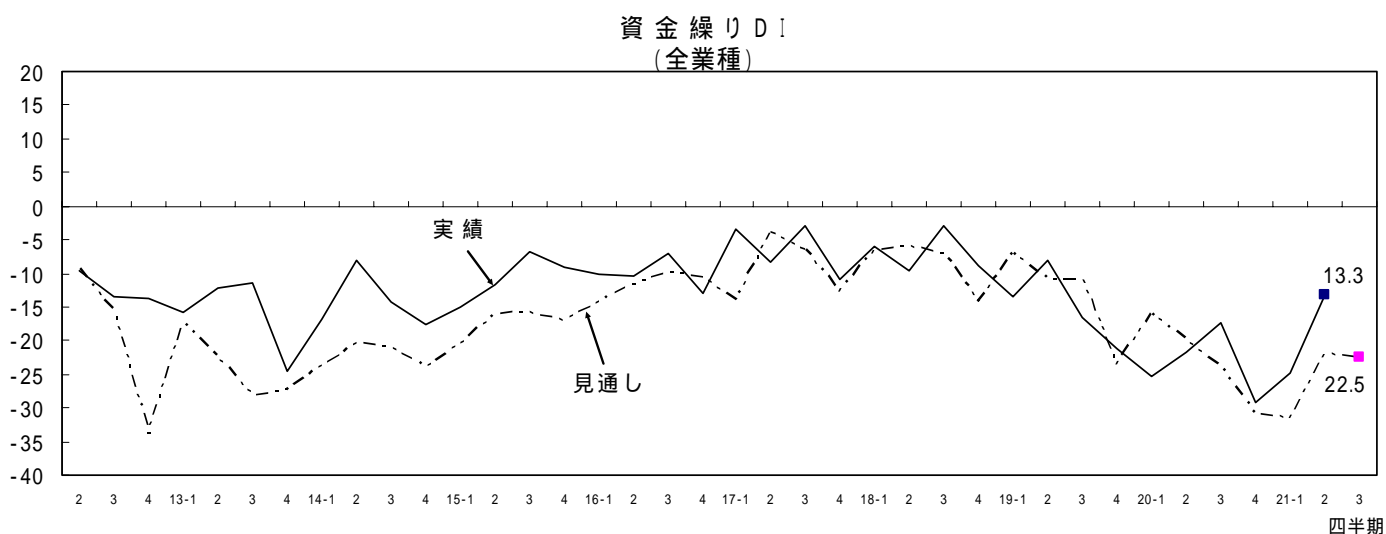
(%)

業種	H21年4月～6月(前期)				H21年7月～9月(今期)				これから3ヵ月間の見通し			
	黒字	収支トイ	赤字	D I	黒字	収支トイ	赤字	D I	黒字	収支トイ	赤字	D I
製造業	18.5	33.3	48.1	29.6	13.6	52.3	34.1	20.5	18.2	56.8	25.0	6.8
卸売業	16.7	50.0	33.3	16.6	7.7	69.2	23.1	15.4	7.7	53.8	38.5	30.8
小売業	14.8	46.3	38.9	24.1	23.1	48.1	28.8	5.7	19.2	48.1	32.7	13.5
飲食業	18.2	18.2	63.6	45.4	20.0	50.0	30.0	10.0	0.0	50.0	50.0	50.0
サービス業	15.4	38.5	46.2	30.8	54.5	36.4	9.1	45.4	27.3	54.5	18.2	9.1
建設業	3.7	48.1	48.1	44.4	7.1	50.0	42.9	35.8	14.3	50.0	35.7	21.4
不動産業	33.3	50.0	16.7	16.6	20.0	80.0	0.0	20.0	20.0	60.0	20.0	0.0
農業	0.0	40.0	60.0	60.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0
全業種	14.8	40.7	44.5	29.7	18.2	51.5	30.3	12.1	16.4	52.1	31.5	15.1

4. 資金繰り

全業種の資金繰り判断D.I.(好転-悪化)は、今期 13.3と前期 24.8に比べ11.5ポイントの改善となりました。業種別では、農業、建設業、飲食業で悪化となりましたが、サービス業で60ポイント以上の大幅改善をはじめ、製造業、卸売業、小売業、不動産業で改善となりました。

来期の見通しは、不動産業、農業で横這いとなっていますが、サービス業、飲食業、卸売業、製造業、建設業、小売業で悪化する見通しとなっており、その結果、予想採算水準判断D.I.は 22.5と今期より9.2ポイントの改善予想となっています。

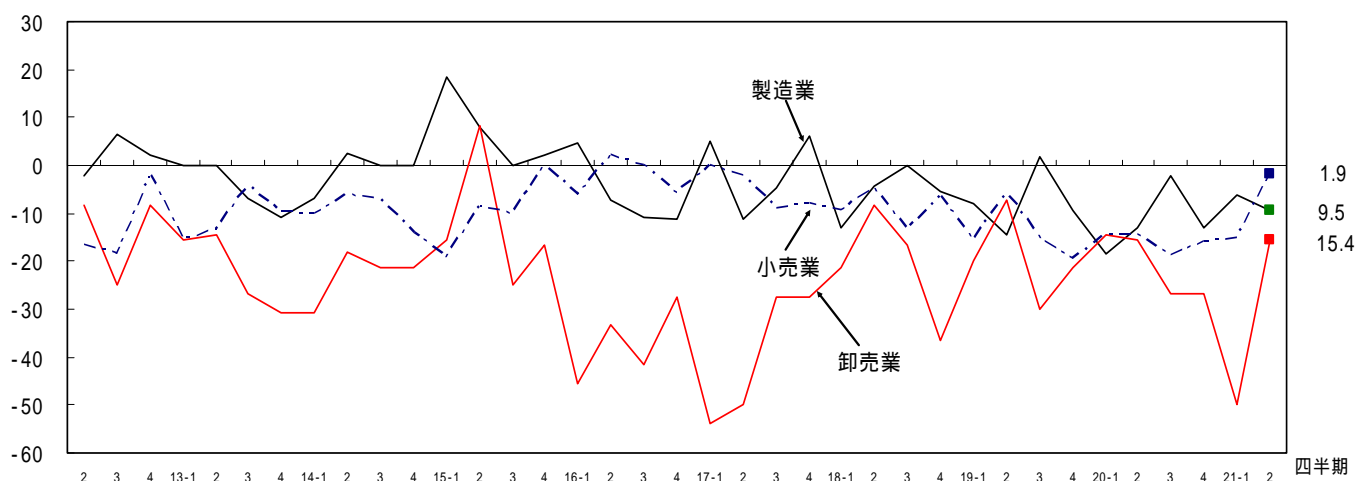


5 . 製品(商品)在庫

製品（商品）在庫判断D.I.（不足 - 過大）は、製造業で 9.5と3.2ポイント悪化となりましたが、卸売業で 15.4と34.6ポイント、小売業で 1.9と13.2ポイントそれぞれ改善となりました。

製造業は在庫過大と感じている割合が上昇しました。卸売業は適正感が上昇しました。一方、小売業は不足感が上昇しました。

製品(商品)在庫D I



製品(商品)在庫

(%)

業種	H21年4月～6月(前期)				H21年7月～9月(今期)			
	不足	適正	過大	D I	不足	適正	過大	D I
製造業	8.3	77.1	14.6	6.3	9.5	71.4	19.0	9.5
卸売業	8.3	33.3	58.3	50.0	15.4	53.8	30.8	15.4
小売業	5.7	73.6	20.8	15.1	15.4	67.3	17.3	1.9

6. 設備投資

設備投資は今期「行った」とする割合は21.2%と前期に比べ2.0ポイント上昇しました。

今期の投資目的としては、「車輛」が13件と最も多く、続いて「機械・設備の新・増設」が7件、「機械・設備の更改」が6件、「事務機器」が4件、「事業用土地・建物」が3件、「その他」2件の順となっています。

来期に設備投資を「行う」とする割合は12.7%と今期より8.5ポイント低下する見込みです。

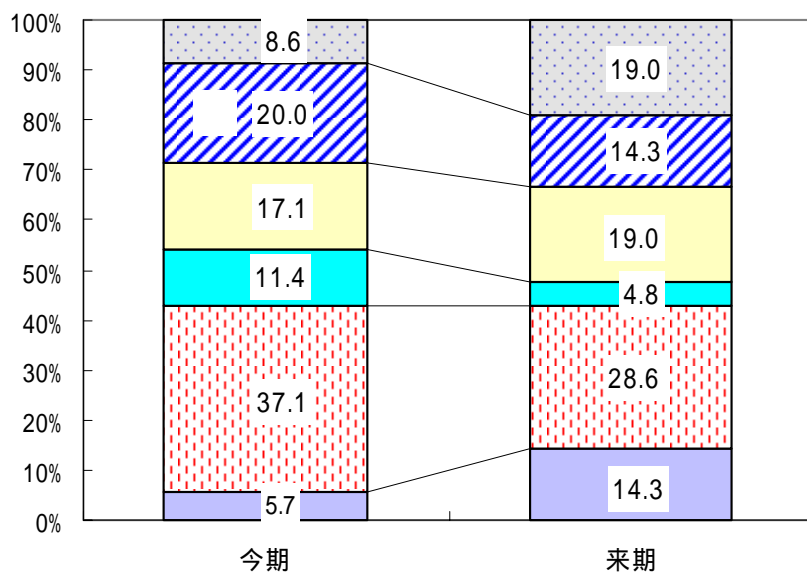
設備投資

(%)

業種	H21年4月～6月(前期)		H21年7月～9月(今期)		これから3ヵ月間の見通し	
	行った	行わなかった	行った	行わなかった	行う	行わない
製造業	18.5	81.5	13.6	86.4	9.1	90.9
卸売業	8.3	91.7	15.4	84.6	23.1	76.9
小売業	14.8	85.2	23.1	76.9	7.7	92.3
飲食業	27.3	72.7	10.0	90.0	10.0	90.0
サービス業	38.5	61.5	36.4	63.6	9.1	90.9
建設業	18.5	81.5	25.0	75.0	17.9	82.1
不動産業	33.3	66.7	40.0	60.0	40.0	60.0
農業	20.0	80.0	50.0	50.0	50.0	50.0
全業種	19.2	80.8	21.2	78.8	12.7	87.3

投資目的

区分	H21年7月～9月(今期)		これから3ヵ月間の見通し	
	件数	割合	件数	割合
事業用土地・建物	3	8.6	4	19.0
機械・設備の新・増設	7	20.0	3	14.3
機械・設備の更改	6	17.1	4	19.0
事務機器	4	11.4	1	4.8
車輛	13	37.1	6	28.6
その他	2	5.7	3	14.3
合計	35	100.0	21	100.0



7. 経営上の問題点

経営上の問題点として、売上の停滞・減少とする回答割合が55.2%と最も多く、次に利幅の縮小が18.8%、その他6.1%、問題なし5.5%、販売競争激化4.8%と続き、景気見通しは依然厳しい業況を示しています。

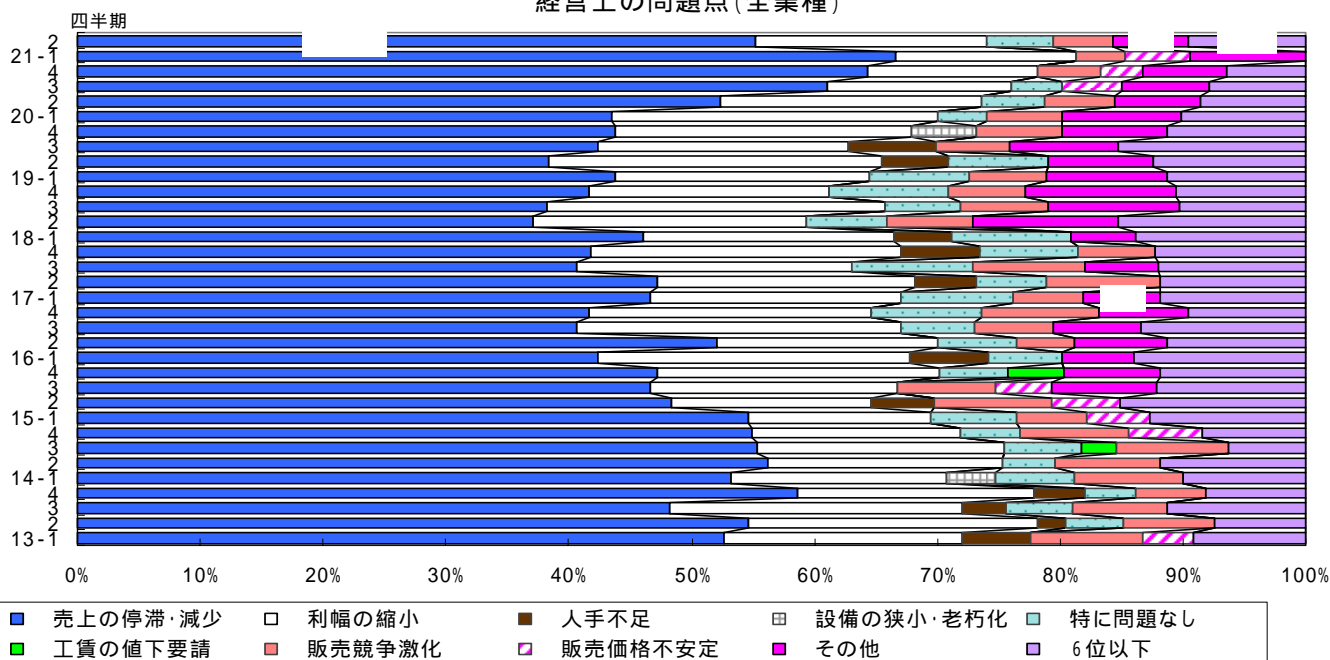
今期も1、2、3位に順位の変動はありませんでした。内容としては、1位の「売上の停滞・減少」は55.2%（前期より6.9ポイント減少）と全業種で1位、また2位の「利幅の縮小」は18.8%（前期より5.1ポイント増加）と全業種で2位となっており、いずれも依然深刻な問題となっています。なお、農業では「売上の停滞・減少」、「販売価格の不安定」が、ともに50.0%と同率の1位となっています。

経営上の問題点

(%)

業種	1位	2位	3位	4位	5位
製造業	売上の停滞・減少 59.1	利幅の縮小 20.5	販売競争激化 4.5	販売価格の不安定 4.5	問題なし 4.5
卸売業	売上の停滞・減少 69.2	利幅の縮小 15.4	人手不足 7.7	問題なし 7.7	
小売業	売上の停滞・減少 50.0	利幅の縮小 21.2	販売競争激化 9.6	販売価格の不安定 7.7	人手不足 5.8
飲食業	売上の停滞・減少 60.0	その他 20.0	設備狭小・老朽化 10.0	問題なし 10.0	
サービス業	売上の停滞・減少 36.4	利幅の縮小 27.3	問題なし 18.2	人手不足 9.1	その他 9.1
建設業	売上の停滞・減少 64.3	その他 17.9	利幅の縮小 14.3	問題なし 3.6	
不動産業	利幅の縮小 40.0	売上の停滞・減少 20.0	販売競争激化 20.0	その他 20.0	
農業	売上の停滞・減少 50.0	販売価格の不安定 50.0			
全業種	売上の停滞・減少 55.2	利幅の縮小 18.8	その他 6.1	問題なし 5.5	販売競争激化 4.8

経営上の問題点(全業種)



区分	18-2	3	4	19-1	2	3	4	20-1	2	3	4	21-1	2
売上の停滞・減少	37.1	38.1	40.0	43.8	38.4	42.3	43.9	43.5	52.0	61.1	64.4	62.1	55.2
利幅の縮小	22.4	27.4	18.8	20.6	27.0	20.3	24.1	26.6	21.1	15.0	13.8	13.7	18.8
その他	11.8	10.7	11.8	9.8	8.6	8.8	8.6	9.6	6.9	7.2	6.9	8.8	6.1
特に問題なし	-	-	-	-	-	-	-	4.0	5.1	4.2	-	-	5.5
販売競争激化	7.1	7.1	5.9	6.2	-	6.0	7.0	6.2	5.7	-	5.2	3.8	4.8
販売価格の不安定	6.5	6.0	9.4	8.2	8.1	-	-	-	-	4.8	3.4	4.9	-
人手不足	-	-	-	-	5.4	7.1	-	-	-	-	-	-	-
設備の狭小・老朽化	-	-	-	-	-	-	5.3	-	-	-	-	-	-
工賃の値下要請	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

「-」は6位以下を示しています。

8. 業況の回復時期

業況の回復時期は、「平成22年4～6月」と「平成23年1月以降」が4.8%と最も多く、次いで「平成22年1～3月」、「平成22年7～12月」が3.6%となっております。

しかし「わからない」との回答が80.6%と最も多く、依然景気の不透明感は強いものがあります。

業況の回復時期

(先、%)

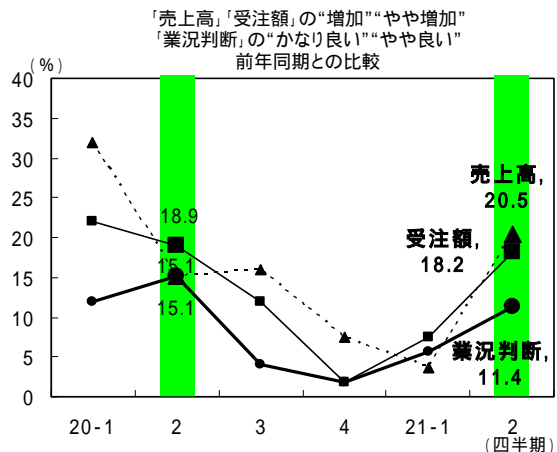
業種	回答企業数	すでに回復	平成21年10～12月	平成22年1～3月	4～6月	7～12月	平成23年1月以降	わからない
製造業	44	2.3	2.3	2.3	0.0	6.8	2.3	84.1
卸売業	13	0.0	0.0	7.7	0.0	7.7	7.7	76.9
小売業	52	1.9	1.9	3.8	11.5	1.9	5.8	73.1
飲食業	10	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	90.0
サービス業	11	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	90.9
建設業	28	0.0	0.0	7.1	3.6	0.0	7.1	82.1
不動産業	5	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	80.0
農業	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
全業種	165	1.2	1.2	3.6	4.8	3.6	4.8	80.6

補足調査

製造業、小売業について「売上高」「受注額」「業況判断」の前年同期(第2四半期)との比較調査を每期実施しております。

製造業の「売上高」では、前年同期(回答数53先)は“増加”“やや増加”の回答が15.1%(8先)に対し、今期(回答数44先)は20.5%(9先)と5.4ポイント増加、「受注額」では同様18.9%(10先)に対し、18.2%(8先)と0.7ポイント減少となっております。「業況判断」では前年同期は“かなり良い”“やや良い”が15.1%(8先)に対して、今期は11.4%(5先)と3.7ポイント減少となっております。

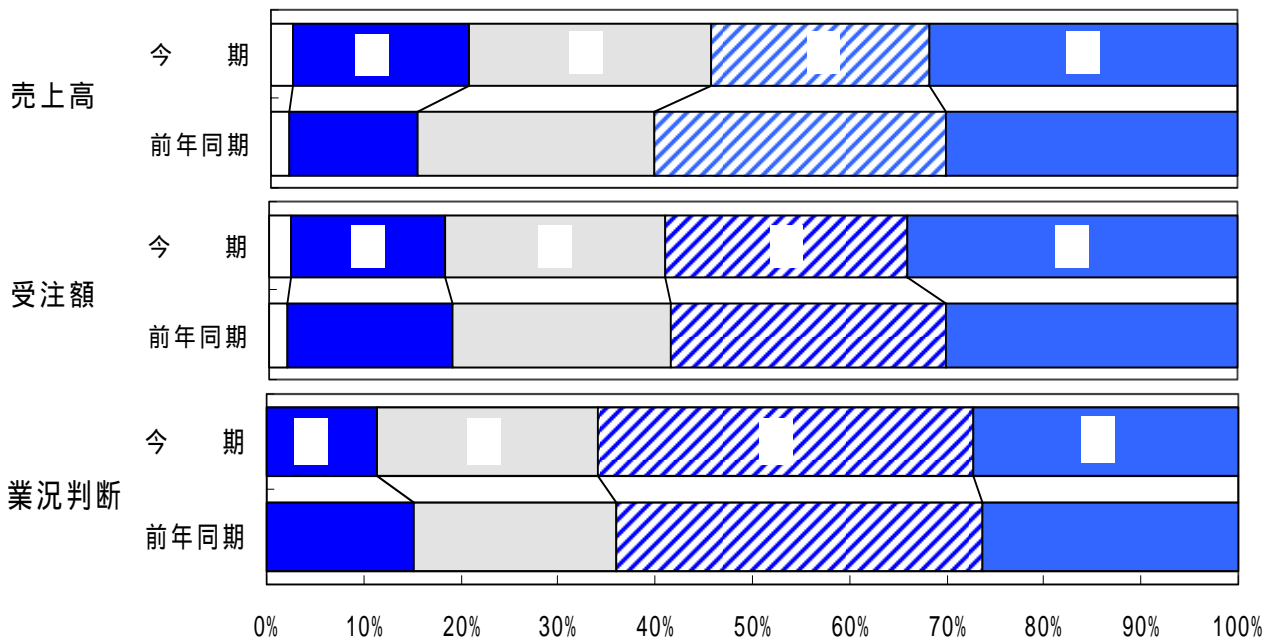
製造業は「業況判断」「受注額」でそれぞれ今期ポイントが減少しています。



<製造業>

(先、%)

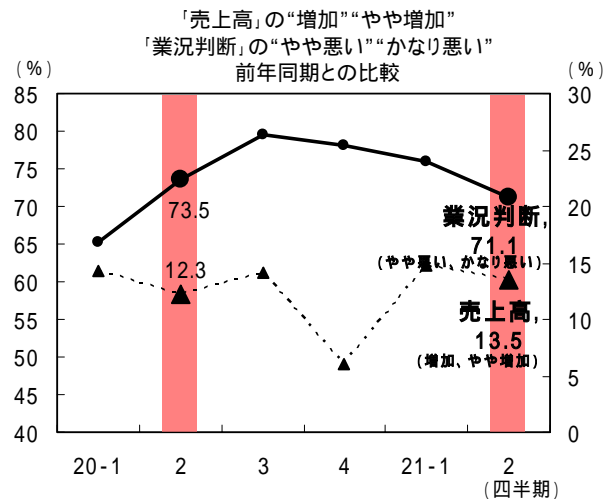
区分	売上高		受注額		区分	業況判断	
	20年7～9月	21年7～9月	20年7～9月	21年7～9月		20年7～9月	21年7～9月
増加	1	1.9	1	2.3	かなり良い	0	0.0
やや増加	7	13.2	8	18.2	やや良い	8	15.1
変らず	13	24.5	11	25.0	良くも悪くもない	11	20.8
やや減少	16	30.2	10	22.7	やや悪い	20	37.7
減少	16	30.2	14	31.8	かなり悪い	14	26.4
合計	53	100.0	44	100.0	合計	53	100.0



小売業の「売上高」では前年同期（回答数49先）は“増加”“やや増加”の割合が12.3%（6先）に対し、今期（回答数52先）は13.5%（7先）と1.2ポイント増加となっています。

「業況判断」では“やや悪い”“かなり悪い”が73.5%（36先）であったのに対し、今期は71.1%（37先）と前年同期に比べ2.4ポイント減少となっています。

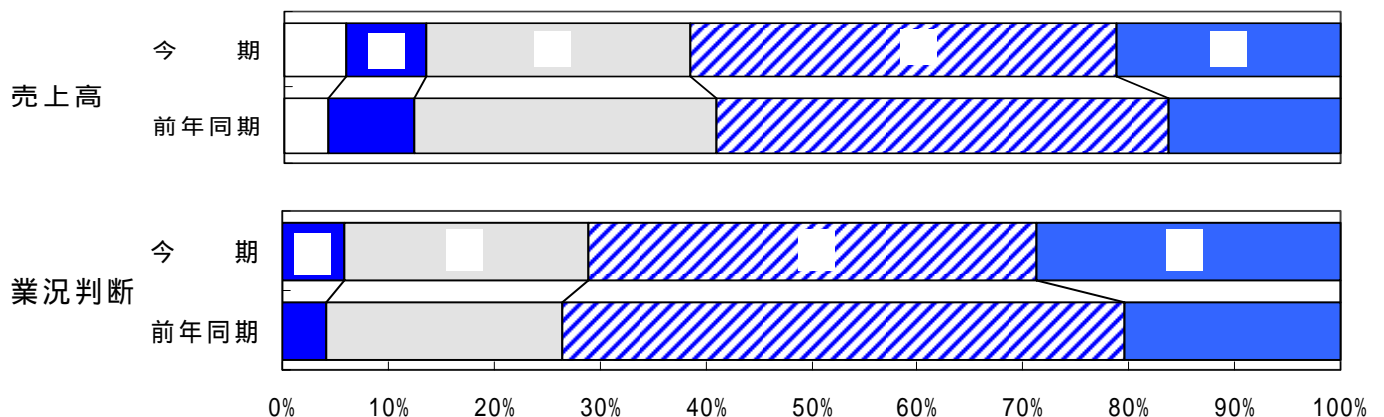
小売業の業況改善に見通しが立たない事から、依然として、地域内における個人消費の停滞感がうかがえます。



< 小売業 >

(先、%)

区分	売上高				区分	業況判断			
	20年7~9月		21年7~9月			20年7~9月		21年7~9月	
増加	2	4.1	3	5.8	かなり良い	0	0.0	0	0.0
やや増加	4	8.2	4	7.7	やや良い	2	4.1	3	5.8
変わらず	14	28.6	13	25.0	良くも悪くもない	11	22.4	12	23.1
やや減少	21	42.9	21	40.4	やや悪い	26	53.1	22	42.3
減少	8	16.3	11	21.2	かなり悪い	10	20.4	15	28.8
合計	49	100.0	52	100.0	合計	49	100.0	52	100.0

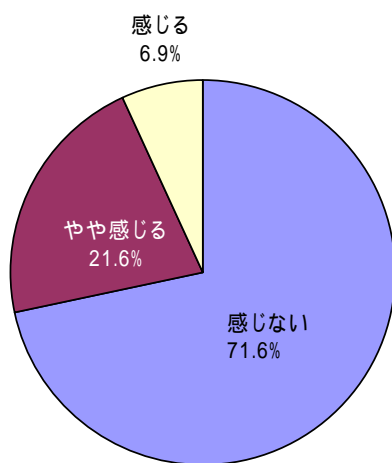


特別調査 ～ 景気の底打ち感について ～

今回「景気の底打ち感について」調査を実施し、結果は下記のとおりとなりました。アンケートにお答えいただき有り難うございます。

問１．景気の底打ちを感じますか

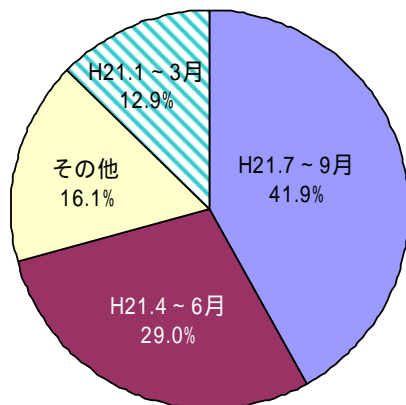
「感じない」71.6%、「やや感じる」21.6%、「感じる」6.9%となりました。この地域の7割以上の方がまだ景気が底を打ったとは感じていない状況であることが分かります。



回答件数 116件

問２．問１で「感じる」、「やや感じる」を回答された方で、いつ頃景気の底打ちを感じましたか。

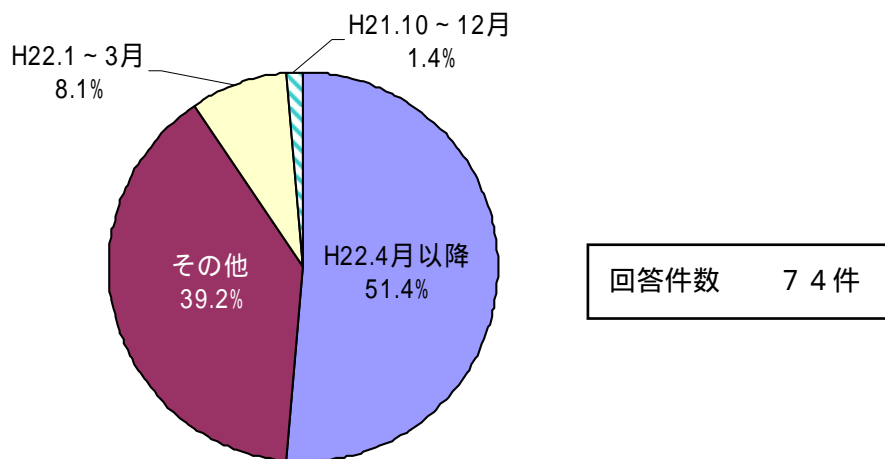
「平成21年7月～9月」が41.9%と最も多く、続いて「平成21年4月～6月(29.0%)」、「その他(16.1%)」、「平成21年1～3月(12.9%)」の順となりました。政府が景気の底打ち宣言を6月に発表しましたが、その後に景気の底打ちを感じた方が多い結果となりました。しかし、政府が発表する以前に景気の底打ちを感じている方も「平成21年4月～6月(29.0%)」と「平成21年1～3月(12.9%)」を合わせると41.9%となります。



回答件数 31件

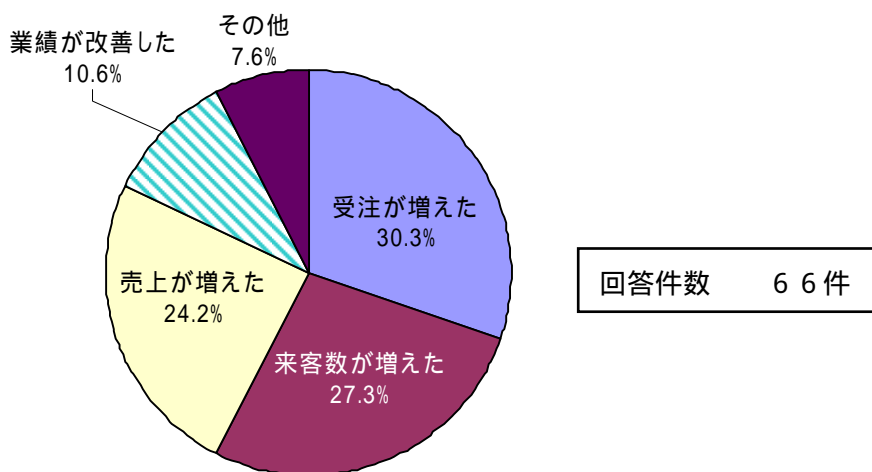
問3 . 問1で「感じない」を回答された方で、いつ頃景気が底打ちすると思いますか。

「平成22年4月以降」51.4%が最も多く、続いて「その他(39.2%)」、「平成22年1~3月(8.1%)」、「平成21年10月~12月(1.4%)」となりました。「その他」の意見として、「わからない」や「当分は無理」との回答が多く、景気の回復はまだ先だと考えている方が多い結果となりました。また、政権交代により今後どのように変化するのかわからないとの回答もありました。



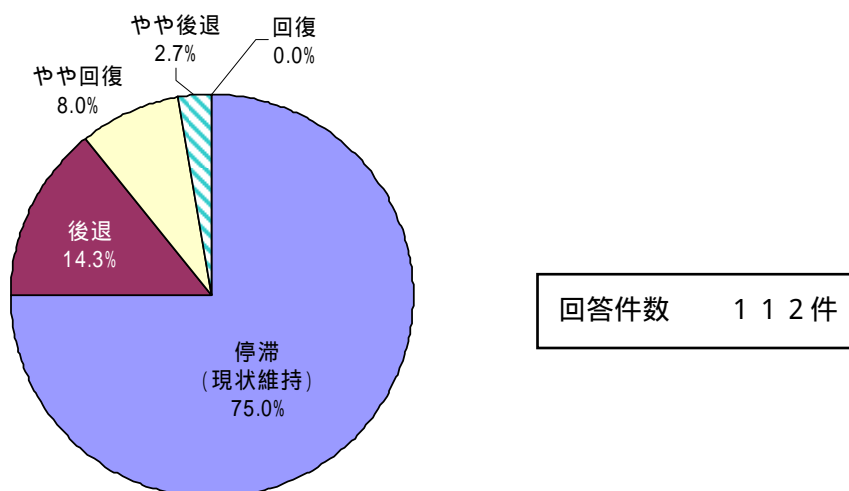
問4 . 景気の底打ちを感じる(感じた)理由は何ですか。(複数回答可)

「受注が増えた」30.3%、「来客数が増えた」27.3%、「売上が増えた」24.2%、「業績が改善した」10.6%、「その他」7.6%となりました。



問5 . 今後の地元の景気はどのようになると思いますか。

「停滞（現状維持）」75.0%と最も多く、続いて「後退（14.3%）」、「やや回復（8.0%）」、「やや後退（2.7%）」、「回復（0%）」となりました。7割以上の方が「停滞（現状維持）」と回答され、また「回復」と回答された方は0%となり、景気回復はまだ先であるとの考えが多い結果となりました。



< その他皆様から寄せられた意見 >

- ・ 民主党になったので、予想がまったくつかない。ダム工事が中止とか、高速道路無料化などに伴う工事が減少になるように思う。
- ・ 民主党政策に期待する。
- ・ 民主党の景気対策は不明瞭で先行き予測できない。
- ・ 地元だけでは仕事はありません。市外へ出て行かなければと思っても市外も仕事はありません。政府が言っていることがよく分かりません。
- ・ 一時自民党の景気対策に期待しましたが、政権交代で政策の進行が止まっています。中央の1ヶ月は地方の6ヶ月になります。かなり厳しいと認識しています。

有効求人倍率について

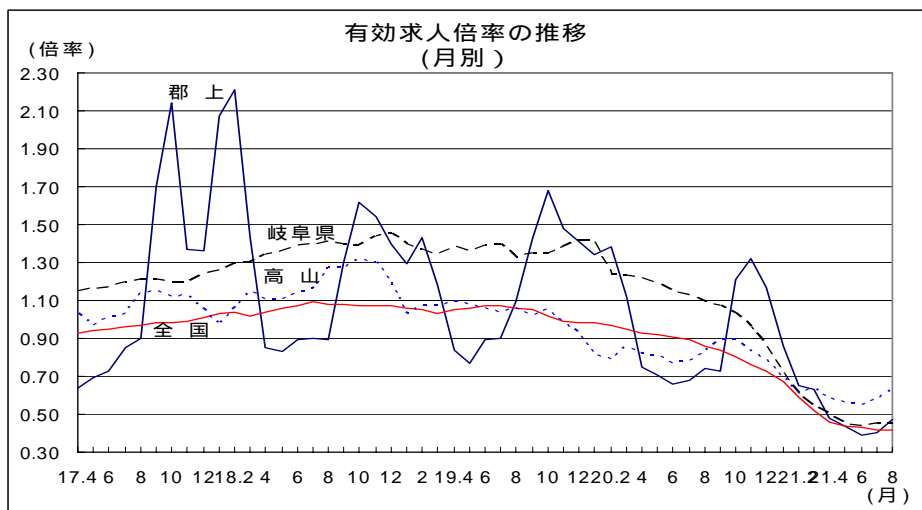
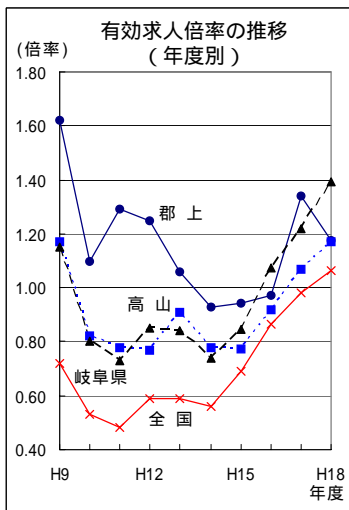
関公共職業安定所岐阜八幡出張所(郡上市)、高山の公共職業安定所のご協力を得て、有効求人倍率(学卒を除きパートを含む)を掲載いたしております。

岐阜八幡管内の8月の有効求人倍率は、0.47倍で前月比0.07ポイント増加、前年同月比で0.27ポイント減少となりました。新規求人数は128人、前年同月比18人減となりました。高山管内の8月の同倍率は0.63倍で、前月比0.05ポイント増加、前年同月比0.20ポイント減少となりました。新規求人数は768人、前年同月比22人増となりました。

また、全国および岐阜県の8月の有効求人倍率は、全国が前月と同じ0.42倍、岐阜県も前月と同じ0.45倍となりました。

(資料提供:関公共職業安定所岐阜八幡出張所、高山公共職業安定所)

$$\text{有効求人倍率} = \frac{\text{月間有効求人数}}{\text{月間有効求職者数}}$$



年度別有効求人倍率

区分	H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度
郡上	1.29	1.25	1.06	0.93	0.94	0.97	1.33	1.78	1.19	0.78
高山	0.78	1.00	0.90	0.77	0.77	0.92	1.07	1.17	0.98	0.78
岐阜県	0.74	0.89	0.78	0.74	0.84	1.07	1.21	1.39	1.35	0.96
全国	0.49	0.62	0.56	0.56	0.69	0.86	0.99	1.06	1.02	0.79

有効求人倍率

区分	19.4	5	6	7	8	9	10	11	12	20.1	2	3
郡上	0.84	0.77	0.89	0.90	1.09	1.43	1.68	1.48	1.41	1.34	1.38	1.12
高山	1.09	1.08	1.06	1.04	1.06	1.02	1.05	0.98	0.93	0.82	0.79	0.86
岐阜県	1.38	1.36	1.39	1.40	1.33	1.35	1.35	1.38	1.42	1.42	1.24	1.23
全国	1.05	1.06	1.07	1.07	1.06	1.05	1.02	0.99	0.98	0.98	0.97	0.95

区分	20.4	5	6	7	8	9	10	11	12	21.1	2	3
郡上	0.75	0.71	0.66	0.68	0.74	0.73	1.21	1.32	1.17	0.86	0.65	0.63
高山	0.82	0.81	0.77	0.78	0.83	0.89	0.89	0.83	0.79	0.69	0.61	0.64
岐阜県	1.22	1.19	1.15	1.13	1.09	1.07	1.03	0.96	0.86	0.72	0.60	0.54
全国	0.93	0.92	0.91	0.89	0.86	0.84	0.80	0.76	0.73	0.67	0.59	0.52

区分	21.4	5	6	7	8
郡上	0.48	0.44	0.39	0.40	0.47
高山	0.58	0.56	0.55	0.58	0.63
岐阜県	0.50	0.45	0.44	0.45	0.45
全国	0.46	0.44	0.43	0.42	0.42